

理科 担当教員： XXXXXXXXXX

使用教材：教科書、資料集、ワーク、タブレットなど

【学習目標】

- ・自然の事物・現象に進んで関わる態度を育てる。
- ・実験や観察などを行い、科学的に探究する能力の基礎を育てる。
- ・自然の事物・現象について理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

1年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年 計 105h			
	生物の世界			物質のすがた		夏休み	物質のすがた		身近な物理現象		冬休み	大地の変化				
時間	34						48					23				
2年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年 計 140h			
	化学変化と原子・分子			生物の体のつくりとはたらき		夏休み	生物の体のつくりとはたらき		電流とその利用		冬休み	電流とその利用		気象のしくみと天気の変化		
時間	35			12			28		30			35				
3年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年 計 140h			
	運動とエネルギー			生命のつながり		夏休み	自然界のつながり		化学変化とイオン		冬休み	地球と宇宙		地球の明るい未来のために		
時間	34			25			11		25			25		20		

○授業について

- ・授業は教科書を中心に進めていきます。資料集は参考資料として使います。
- ・実験、観察では、安全面に十分注意を行います。
- ・課題に対して予想を立て、考える時間をつくり、解決する方法を考え実践していきます。
- ・単元ごとに、学習前と学習後で振り返りを行います。

○生徒の皆さんへ

- ・板書以外のことも、積極的にメモをとりましょう。
- ・積極的に発言しましょう。
- ・自分自身で考えをまとめ、言葉や文字で表現しましょう。

○生徒の授業における ICT の活用について

- ・家庭学習などにドリルパークを使います。
- ・観察、実験の過程での情報の検索に使います。
- ・観察、実験における記録に使います。
- ・観測しにくい現象をシミュレーションして学びます。

○家庭学習はこのように取り組もう

- ・毎日、その日の授業内容を復習すると、授業内容の理解が深まります。
- ・教科書の読み直しや、ワークの解き直しをしましょう。
- ・夏休みの課題や宿題に、積極的に取り組みましょう。
- ・動画などタブレットを積極的に活用しましょう。

○定期考査前はこのように取り組もう

- ・小テストや完全学習（ワーク）を、繰り返し学習することが大切です。
- ・教科書の太字や、ノートに書いてあることを覚えましょう。
- ・教科書の章末問題等も、自分で解くようにしましょう。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	自然の事物・現象について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価資料	・実験や観察への取り組み ・レポートの内容・表現 ・小テスト ・定期考査 など	・課題の内容 ・レポートの内容・表現 ・小テスト ・定期考査 など	・授業への取り組み ・ノートの記載内容 ・課題への取り組み など

